

9 月度 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">例会</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">個人</span> 山行報告書		報告者	山中	参加 メンバー	CL:吉村絢 SL:山中徹 山中ちゆき
		報告日	9/10		
山 域	奥三河	山行日	12年9月9日(木)		
山 名	鳳来寺山				
山行目的	ハイキング	コースタイム(天候:天気図記号)			

配布先  
集会:12  
山行:1  
リーダー  
原紙:集会担当者



9/9(木) 晴れ  
8:30 大府発  
10:00 駐車場到着  
10:15 駐車場出発  
石段を登り始める  
10:50-55 休憩  
11:05 鳳来寺本堂  
11:30 東海自然歩道に  
向け出発  
12:03 奥の院  
12:20 鳳来寺山頂  
昼食  
12:40 山頂出発  
13:05 天狗岩  
13:40 鷹打場  
14:10 東照宮  
14:30 鳳来寺本堂  
15:10 駐車場戻り



〈山行報告〉 鳳来寺山は、小学校の遠足以来である。ノスタルジーの中、駐車場に到着。桔梗屋という旅館の駐車場に停めさせてもらう。料金は、400円。着替えて、早速、登山開始。と言っても、今回は石段がメイン。ひたすら石段を登る。1425段の石段を数えようと一瞬考えたが、60段くらいまで数えたところで挫折。単調な石段はきつい。でも、予想していたよりも日陰が多かったので、気持ち的に楽であった。妻は、前日から鳳来寺山は簡単な石段だと甘くみており、着替え等を携帯しておらず、吉村さんから叱られる。妻に鳳来寺山の厳しさを教え、反省させたいところだったが、そう思っている間に、鳳来寺本堂に到着してしまった。広々としたテーブル付きの休憩所があり、一休み。休憩後、東海自然歩道(天竜奥三河国定公園)に向けて出発。石段から典型的な山道に変化。「やっぱ、山はこうでなくっちゃ」と思いながら山道を楽しむ。今にも崩れそうな「奥の院」を過ぎ、山頂に到着。他の登山者が犬を連れていた。一緒に登ってきた(駆けてきた)らしい。頼もしい相棒だ。昼食後、天狗岩に向けて出発。天狗岩は、きっと天狗の鼻のような形をした岩があるだろうと予想していたのに、それらしい岩を発見することはできなかった。歩みを進め、鷹打場に到着。岩に腰かけて見下ろす景色は最高(写真参照)。暫し時間を忘れる。東照宮は、こんな山奥に、こんな美しい建物があるんだ、と感激。無事の登山を神様に感謝した。再び鳳来寺本堂に戻ってきた。トイレが美しいのに感激。こんなことに感激しているようでは、

立派な登山者になれないかも。本堂からは、石段を一気に駆け降りる。上りも下りもストックを使ったおかげか、膝が痛くならず済んだ。とうとう最後まで妻を反省させることはできなかった。でも、本当に気持ち良くハイキングができた。今度は紅葉の季節に来てみたい。



ソ バカもできる気の合った三人。

確認  
(リーダー)  
吉  
12/09/10  
村  
作成  
(報告者)  
山  
12/09/10  
中

〈リーダー所見〉当初、明神山に行こうとしていたが、吉村の疲労が溜まっていたため以前から山中さんにリクエストされていた鳳来寺山に変更。途中、雨雲が大きく広がったが、雨に降られることなく下山できた。新緑と紅葉時は更にキレイとのことなので、またその頃に訪れたい。